

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立春日北小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

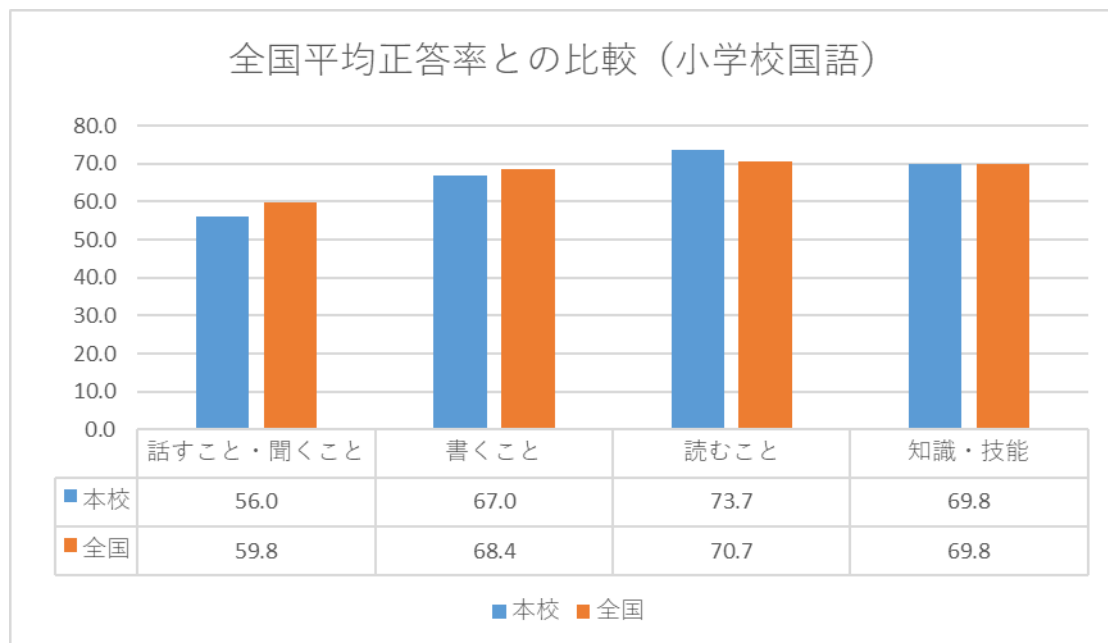
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語



(1) 結 果

「読むこと」の領域は、全国平均正答率を上回りました。条件を満たしながら記述で答える解答を含め、無解答率は全国平均に比べて低く、最後まで粘り強く取り組むことができました。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「読むこと」の正答率が全国平均正答率を3ポイント上回りました。中でも、物語を読み、人物像を具体的に想像することができるかを問う問題では、全国平均を大きく上回りました。日常の中で、音読学習を習慣としたり、読書に親しんだりしている成果が表れていると考えられます。

課題は、「記述式」の正答率を上げることです。無解答率は減っているものの、問題にある条件を全て満たしながら記述した解答が少なく、正答率を下げる原因となりました。記述で表現することを苦手とする児童は多くいます。児童の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題だけでなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

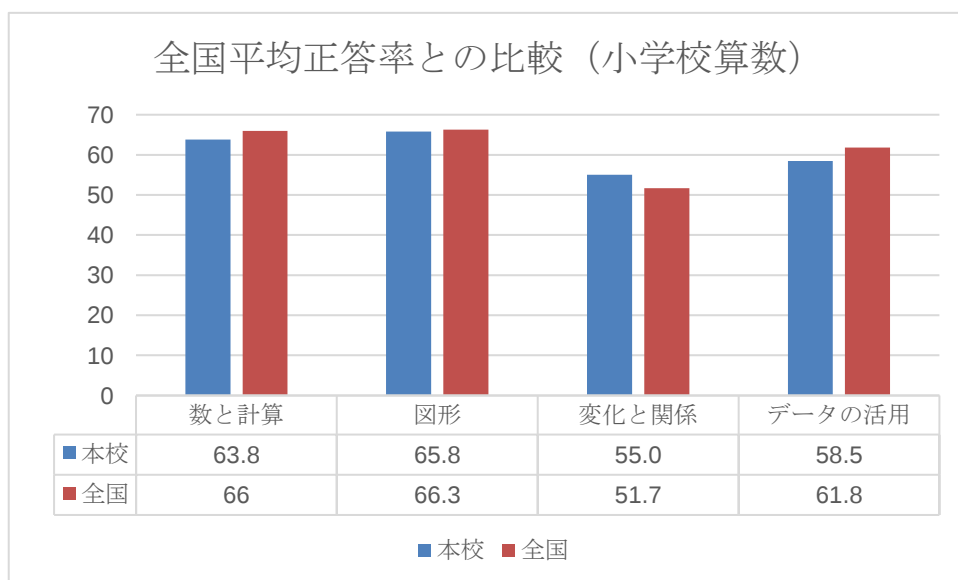
【学校では】

- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。
習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。
- 漢字の読み書き、ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術...いろいろな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、お子さんの読書習慣をつける上でおすすめです。

2 算数(数学)



(1) 結果

「変化と関係」の領域は、全国平均正答率を上回りました。無解答率については、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっており、粘り強く取り組むことができました。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「変化と関係」の領域において、速さと道のりと時間の関係やその意味に関する問題の正答率が全国平均を3.3ポイント上回りました。自分の考えを、式や言葉を使って論理的に書く機会を増やすなどの授業改善の成果が表れていると考えられます。

課題は、「データの活用」領域で正答率の低さが見られます。グラフや表から必要な数値を読み取ったり、必要なデータを取り出して分類整理したり式に表したりすることに課題が見られました。式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させることで、実感を伴った理解ができるようにすることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させるようにします。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- TT少人数指導、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉を掛けてください。
- 算数が好きになるには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」という経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結 果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	86.3%	83.4%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	43.1%	39.7%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	67.6%	56.1%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.3%	43.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	59.8%	60.6%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	71.6%	71.1%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	93.1%	79.5%

「自分にはよいところがあると思うか。」の項目で肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均よりも大きく下回っていることが気になります。また、「将来の夢や目標を持っているか。」の項目も若干下回っています。ご家庭でも、お子さんのよいところに目を向け、褒め言葉や励ましの声かけをお願いします。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「3時間以上」	9.8%	11.0%
「2時間以上、3時間より少ない」	9.8%	12.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	42.2%	31.1%
「30分以上、1時間より少ない」	30.4%	27.0%
「30分より少ない」	6.9%	13.0%
「全くしない」	1.0%	5.3%

家庭学習については、「30分より少ない」「全くしない」児童が8%未満にとどまり、ほとんどの児童は、家庭学習の習慣が身に付いていることが分かります。引き続き、学校において、「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の意味を伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。また、学年に応じた自主学習に取り組み、手本になる「自学ノート」を提示したり、紹介したりしています。さらに、「北っ子ががんばろう週間」の取り組みでは、家庭学習週間の定着に向け、自分に合っためあてを設定して取り組むよう啓発中です。
- 情報モラルやメディアの使い方について、「特別の教科 道徳」や「学級活動」の時間を活用し、児童の発達段階に応じた学習や啓発を行っています。

【ご家庭では】

- 家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認ください。家庭学習のさらなる充実を図ってください。お子さんが、自ら学習ができたとき、少しでも向上したときを、逃さず褒めることで意識が更に高まります。
- 基本的な生活習慣のリズムの確立やテレビ・ゲームの時間を決めるなど、家庭でのルール作りにもご協力ください。